

2016.12月

品質月報

Monthly Quality Report

12月号 INDEX

PAGE 3 ……品質方針

PAGE 4 ……今月のトピックス

★ 今月のテーマは…
トランスアジア航空解散

PAGE 5 ……品質状況

市場不良率推移 クレーム発生状況



SANSHIN GROUP



品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動をおこない、社会へ貢献してまいります。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを厳守し、お客様に信頼される品質の提供につとめてまいります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守をとおして品質の向上につとめてまいります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネージメントレビューをおこない、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかってまいります。

平成26年10月1日
サンシングループ

石井 宏宗



今月のトピックス

台湾トランスアジア航空解散



台湾のトランスアジア航空は11月22日、臨時の取締役会を開き、同社を解散することを決定した。同社では22日の始発便から全便が欠航となっていた。欠航便について、予約済みの航空券は全額返金するとしている。

■創業65年、台湾初の民間航空会社 トランスアジア航空とは

トランスアジア航空は1951年に台湾初の民間航空会社として設立された。台湾内で運航していたが、1992年からはチャーター便で国際線に進出。日本便は2008年から運航している。

近年は国際線を中心に路線拡大や機材の大型化を進めていたが、2014年7月と2015年2月に多数の死傷者を出す墜落事故を起こし、経営悪化が伝えられていた。

同社は2016年年度は9月までに22億2000万台湾ドル(約77億円)の損失を計上。これは、2015年度の損失額11億1600万台湾ドル(約38億円)の約2倍にのぼる。

2014年7月

復興航空222便(GE222便)が、台風10号による天候不良の影響を受け馬公空港にて着陸を失敗、復行を試みたが上昇できず、西溪村に墜落した事故。乗客54名、乗員4名のうち、48名の死亡が確認された。また、この事故で民家2棟が巻き込まれ、少なくとも5人が負傷した。

<事故原因>

悪天候による視界不良のためパイロットたちは滑走路の位置を確認できないまま、機体を基準の高度以下にまで下げており、彼らが着陸復行を決めた際には基本的に既に手遅れであったことを指摘した。それ故に事故原因はマニュアルに違反した**ヒューマンエラー**であるとされている。

2015年2月

復興航空235便(GE235便)のエンジンが離陸直後に故障したことが原因で、台北市南港区と新北市汐止区の境界をなす基隆河の水上に墜落した事故。

2月12日時点の報道によれば乗客53名、乗員5名のうち、生存者15名、43名の死亡が確認された(救助作業、搭乗者の国籍、の項を参照)。またこの事故で高速道路、環東大道を通行中のタクシー1台が左翼と接触し大破したが乗員2名は軽傷で済み、病院へ搬送された。

<事故原因>

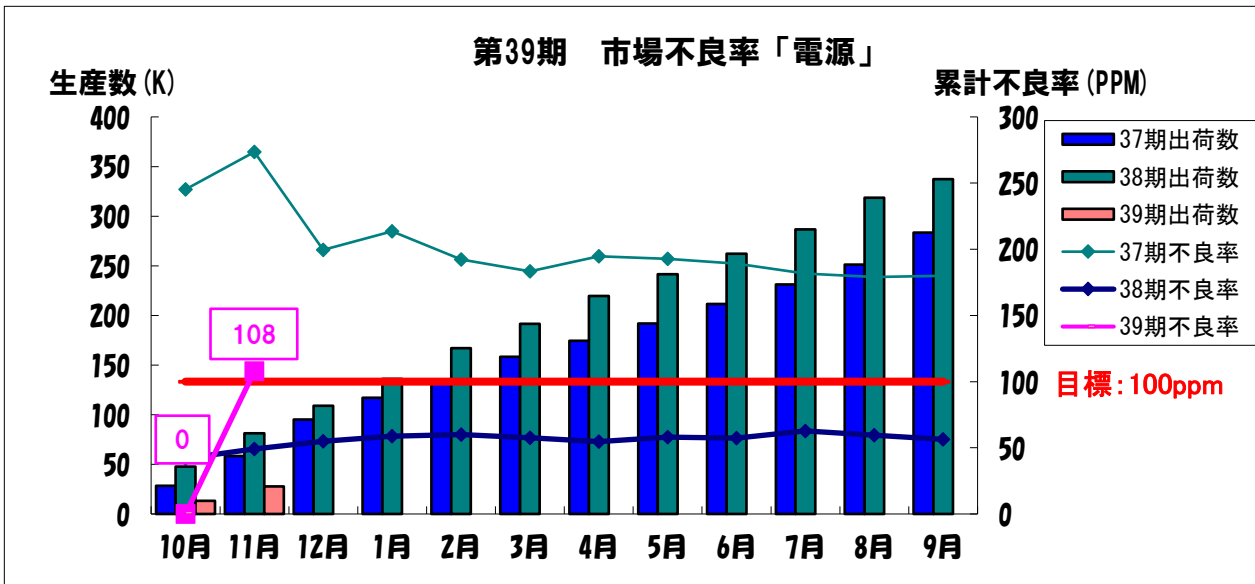
最終報告によると、原因は機長が離陸前に動力調整システムの異常があったにもかかわらず離陸を強行したこと、並びに片側エンジンの故障による警告音を聞いた際に機長が正常側エンジンを停止させる操作を行った**ヒューマンエラー**が主な要因であるとされている。

今月の品質状況

39期の旗印

納入不良率 目標.....100ppm

39期の累計不良率は、108ppm です。
 市場不良累計 : 3件 客先クレーム : 0件



クレーム発生推移

「クレーム」の定義: 当社製品がエンドユーザー様にて使用中に
 当社の責任による原因で不具合が発生し、見直し・改修の場合

